

21. 学芸員資格の取得について

学芸員課程設置の目的

本課程は、博物館法に基づき、博物館や美術館などの運営にあたる専門職員である学芸員を養成することを目的とする。

学芸員の職務

博物館法に基づく博物館及び博物館相当施設において、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究と関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したものは、学芸員となる資格を有する。

平成27年度以前入学者

博物館に関する科目は、次の表に従って履修すること。

【注】表の内容（授業科目、開講時限等）の変更は掲示にてお知らせします。

学芸員資格取得希望者は必ずこまめに掲示板を確認するよう心がけてください。

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目		備 考	
科目	単位数	授 業 科 目 名	必要単位数		
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習社会論	2	教育学部開講科目 (第1・2学期・月曜・1, 2限・<2年次〜>) 平成27年度以前入学者： 講義番号 020042 【教育学部 本館401教室】 (開講時間帯・教室はシラバスで確認すること。)
	博物館概論	2	博物館概論	2	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	博物館による学習支援	2	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	
博物館実習	3	人文系博物館実習	3	・文学部、教育学部及び理学部の学生で本備考欄の“★博物館実習履修のための修得必要科目”を全て修得した者の中から40名が受講できる。40名を超える場合は、“★博物館実習履修のための修得必要科目”の合計12単位の成績平均点により選抜する。 ・末尾の(注)をよく確認すること。	
選択科目	文化史・美術史・考古学	人類学 日本史概説1 日本史概説2 アジア史概説1 アジア史概説2 西洋史概説1 西洋史概説2 考古学概説1 考古学概説2 文化人類学概説1	6	左記のうちから 3科目6単位 を選択すること。 ◎重複履修可の科目を複数回修得しても1科目の修得と数えるので注意すること。 (例：選択科目中「日本史概説1」を2回、「アジア史概説1」を1回修得したとすると、単位数は6単位修得しているが、科目数は2科目となり、科目数が不足していることになる。) (次項に続く)	

	文化人類学概説 2 美術史概説 1 美術史概説 2	(前項より) ★博物館実習履修のための修得必要科目 必要な科目数及び単位数：3科目6単位
--	---------------------------------	--

(注) 博物館実習の履修手続について

博物館実習の履修を希望する学生は、上表備考欄の“★博物館実習履修のための修得必要科目”6科目12単位を全て修得した者とし、履修登録とは別に履修希望願を提出しなければなりません。

履修希望願の提出期限については、毎年度掲示により指示します。

履修許可の認定は、文学部学芸員課程専門委員会において行い、その結果については掲示により通知します。

履修を許可された者は、その年度に「人文系博物館実習」の履修登録を行わなければなりません。

平成28年度以後入学者

博物館に関する科目は、次の表に従って履修すること。

【注】表の内容（授業科目、開講時限等）の変更は掲示にてお知らせします。

学芸員資格取得希望者は必ずこまめに掲示板を確認するよう心がけてください。

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目		備 考		
科目	単位数	授 業 科 目 名	必要単位数			
必 修 科 目	生涯学習概論	2	(H30以降入学者) 生涯学習論 A (H28・29入学者) 生涯学習社会論 (1)	1	教育学部開講科目（シラバスで確認すること。） 生涯学習論 A 生涯学習社会論 (1) 生涯学習社会論 (2) (1)と(2)は、2科目を合わせて履修・修得すべき科目で履修順序を示します。 *平成30年度以降入学生対象の生涯学習社会論は文学部専門科目です。	
			(H30以降入学者) 生涯学習社会論 (H28・29入学者) 生涯学習社会論 (2)	1		
	博物館概論	2	博物館概論a	1		★博物館実習履修のための修得必要科目
			博物館概論b	1		★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館経営論	2	博物館経営論	2		★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料論	2	博物館資料論a	1		★博物館実習履修のための修得必要科目
			博物館資料論b	1		★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論a	1		
			博物館資料保存論b	1		
	博物館展示論	2	博物館展示論a	1		
			博物館展示論b	1		
	博物館教育論	2	博物館による学習支援a	1		
			博物館による学習支援b	1		
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論a	1		
博物館情報・メディア論b			1			
博物館実習	3	人文系博物館実習a	1	・文学部、教育学部及び理学部の学生で本備考欄の“★博物館実習履修のための修得必要科目”を全て修得した者の中から40名が受講できる。40名を超える場合は、“★博物館実習履修のための修得必要科目”の合計12単位の成績平均点により選抜する。 ・末尾の(注)をよく確認すること。		
		人文系博物館実習b	1			
		人文系博物館実習c	1			

(次項に続く)

		(前項より)		
選 択 科 目	文化史・美術 史・考古学	人類学	6	左記のうちから 6科目6単位 (人類学を履修した場合は 5科目6単位) を選択すること。 ◎重複履修可の科目を複数回修得しても1科目の修得と数えるので注意すること。 ★博物館実習履修のための修得必要科目 必要な科目数及び単位数： 6科目6単位 (人類学を履修した場合は 5科目6単位)
		人文学概説 (日本史 1 a)		
		人文学概説 (日本史 1 b)		
		人文学概説 (日本史 2 a)		
		人文学概説 (日本史 2 b)		
		人文学概説 (アジア史 1 a)		
		人文学概説 (アジア史 1 b)		
		人文学概説 (アジア史 2 a)		
		人文学概説 (アジア史 2 b)		
		人文学概説 (西洋史 1 a)		
		人文学概説 (西洋史 1 b)		
		人文学概説 (西洋史 2 a)		
		人文学概説 (西洋史 2 b)		
		人文学概説 (考古学 1 a)		
		人文学概説 (考古学 1 b)		
		人文学概説 (考古学 2 a)		
		人文学概説 (考古学 2 b)		
		人文学概説 (文化人類学a)		
		人文学概説 (文化人類学b)		
		人文学概説 (西洋美術史a)		
人文学概説 (西洋美術史b)				
人文学概説 (日本美術史a)				
人文学概説 (日本美術史b)				

(注) 博物館実習の履修手続について

博物館実習の履修を希望する学生は、上表備考欄 “★博物館実習履修のための修得必要科目” 1 1科目 1 2単位 (選択科目で人類学を履修した場合は **1 0科目 1 2単位**) を全て修得した者とし、履修登録とは別に履修希望願を提出しなければなりません。

履修希望願の提出期限については、毎年度掲示により指示します。

履修許可の認定は、文学部学芸員課程専門委員会において行い、その結果については掲示により通知します。

履修を許可された者は、その年度に「人文系博物館実習」の履修登録を行わなければなりません。